



春の幹事会協議事項報告

幹事長 松良修 二 (昭34年卒)

3月11日に東日本を襲った激震と大津波は今後の日本の在り方に大きな課題を投げかけました。これまでの自然との関わりに猛省を促す警鐘でもあります。大きな歪みは、海底のプレートだけに蓄積されてきたのではなく、効率一本やりの、これまでの我が

国のシステムそのものにあつたのかも知れません。

今回の災害に対する復旧に当たっては、日本人の叡智が結集され、世界に冠たる生活環境とシステムが構築される契機になつて欲しいと思ひます。

さて、震災のため開催を一ヵ月延期した春の幹事会が、4月23日、アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて開催されました。その際、報告及び協議された事項を以下にご報告致します。

1. 東日本大震災義援金の件
来る7月9日の総会で、東

大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第41号

発行者・会長 用正靖彦
編集者・委員長 田部修士
発行所・関東同窓会事務局
〒245-0016
横浜市泉区和泉町4384-2
電話 045-803-5677

<http://www.geocities.jp/kantohtaketa/>

日本大震災に対する義援金の募金を行い、日本赤十字社に送ることが決議されました。皆様のご協力をお願い致します。

2. 平成22年度の会計決算(概算)の件

平成22年度の収支予測について、総会収支と維持会費収支に分けて報告がなされました。合計収支は昨年同様黒字の見込みです。本年3月末までの収支実績が確定後、監事の監査を受け、第25回総会で承認を得ることとなります。

3. 今年の総会・懇親会の件

第25回総会・懇親会を、7月9日午前11時30分より、九段下のグランドパレスホテルで開催すること、及び、当番幹事(昭和45年卒と55年卒)の皆さんが検討した懇親会のプランが承認されました。

懇親会では千花有黄(ちばなゆき)さんをお招きして今年も楽しい催しが企画されています。会員の皆様の多数のご出席を心からお待ちしております。ご夫婦揃いでのご出席も歓迎致します。

4. 母校の新卒業生全員に関東同窓会の存在をアピール

昨年に続き、本年も3月1日の母校卒業式に関東同窓会の案内(チラシ)を配布し、卒業する皆さんに当同窓会の存在を知ってもらおうと共に、関東地区へ進学または就職する卒業生に関東同窓会への登録の呼びかけを行いました。早速、2名の登録がありました。

5. 修学旅行企業訪問支援

母校が平成19年から実施している修学旅行企業研修が、今年も、2月1日に実施されました。参加者は2年生190名で、31箇所研修が行われました。

当同窓会では、警視庁、文部科学省、東京消防庁、TBS、小学館、角川グループホールディング、ベネッセコーポレーションへの引率支援、及び、日本パーカライジングの受け入れを、有志のご協力の

もとに実施しました。全員無事に研修を行うことができ、現役の生徒たちとの貴重なコミュニケーションの場を持つことができました。

6. 役員改選の件

本年は役員改選の年に当たることから、用正会長より、現役員は本年7月9日に開催される第25回総会日を以って全員任期満了となること、新会長には幹事長の松良修二を推薦する旨の提案があり、承認されました。浅学非才ですが、少しでも皆様のお役に立てることが出来ればと考え、お受けすることにした次第です。

副会長以下の新しい役員には、別掲のとおりの方々を新役員として推薦致しましたところ、満場一致で承認されました。

尚、この度退任されることになりました用正靖彦会長には相談役に、西誠副会長及び塔尾恵美子副会長には顧問に就任して頂くことが満場一致で承認されました。引き続き宜しくお願い致します。

又、桃溪謙次郎氏には監事として、長い間ご尽力を頂き有難うございました。お礼申し上げます。

竹田高校関東同窓会新役員

平成23年7月改選

役 職	氏 名	卒業年度
会 長	松良 修二	昭和34年
副 会 長	加藤 興史	昭和33年
	津下 渥子	昭和34年
	麻生 三郎	昭和35年
	菅 博敏	昭和40年
幹 事 長	井出 得郎	昭和41年
副 幹 事 長	倉本 正博	昭和44年
事 務 局 長	菅 紀代己	昭和34年
総 務 委 員 長	緒方 義信	昭和38年
企 画 委 員 長	栗田 信子	昭和41年
組 織 委 員 長	志賀 卓史	昭和52年
広 報 委 員 長	田部 修士	昭和42年
監 事	坂本 勇	昭和28年
	後藤 猛士	昭和41年

(相談役、顧問を除く)

「東日本大震災」お見舞い

同窓会会長 用正 靖彦 (昭30年卒)

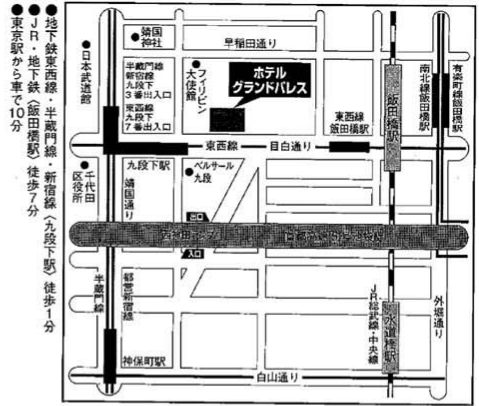
今回の「東北地方太平洋沖地震・津波」や「千葉・静岡地方での地震」更には「福島第一・第二原発の事故」による災害で「家族・ご親戚・友人・知人の方々に被害はありませんでしたか?」案じております。
被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

現在もお余震が発生、また電力不足から計画停電や交通機関の引き運行、更には放射能漏れ等、混乱が続いており、予断を許さない状況にあります。一日も早い復興を心から願うと共に、皆さんが健康で平常な生活がおくれる日の一日も早く来ることを祈っております。

第25回竹田高校関東同窓会 総会と懇親会のご案内

1. 日時 平成23年7月9日(土)
11時00分受付開始
11時30分総会・懇親会
1. 場所 グランドパレスホテル2階ダイヤモンドルーム
千代田区飯田橋1-1-1
電話 03-3264-1111
1. 会費 8,000円

当番幹事・昭45、55年卒



竹田高等学校関東同窓会 新規・会員登録のご案内

竹田高校関東同窓会への会員登録のご案内です。当会は、昭和62年に発足して、今年で25年目を迎えます。登録会員数も2000名強という大きな組織です。卒業生の親睦を図るだけでなく、母校の発展のために色々な貢献をしています。例えば、修学旅行における大学・企業往訪の引率支援などが、その一例です。

関東同窓会より各種の催しの案内を差し上げますので、当会のホームページに記載されている要領で、是非ご登録(無料)下さい。ホームページは竹田高校関東同窓会(<http://www.geocities.jp/kantohaketa/>)です。アクセスお待ちしております。

竹田高等学校関東同窓会

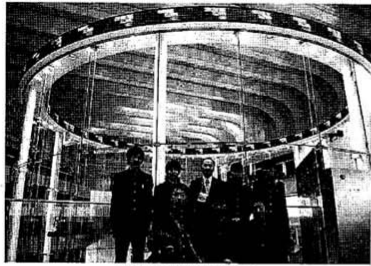
会長 用正 靖彦



竹田高校修学旅行特集

修学旅行企業研修報告書

2年2組 板井 俊樹



東京証券取引所にて

2月1日13時から、日本バーカライジングを訪問させて頂きました。会社に着くと、まず社員の方の案内で、東京証券取引所を見学に行きました。東京証券取引所では、株式会社の資金の集め方や株

について、映像を用いて、わかりやすく教えて頂きました。また、東京証券取引所といえば、日頃ニュース等で見る

株式会社や株式のことを学んだ後は、バーカライジングへ戻り、会議室で会社の概要や表面改質や表面処理に使用する薬品の製造が主要な業務であるという仕事内容をパークグループ各社の社長の皆様

に教えて頂きました。現在建設中のスカイツリーに使用している20万個のボルトにも、錆びにくくするなどの加工がパークライジングの技術を使っていることを知り、驚きました。

ガラスの円柱とその上の株価表示というイメージがあり、その情景を実際に見ることができて感動しました。世界第4位の東京証券取引所の設備は素晴らしく、見学できたことはとても良い経験になりました。



里見会長の激励を受けた

校長 長田 文生

修学旅行での日本バーカライジング訪問について

身が引き締まる思いでした。志望校を決めても、まだ漠然としていた将来のことを考えなければならぬ契機となり、非常に充実した研修になりました。やりたい事を実現するために、今やらなければならぬことを確実に1つずつやっつけていこうと思います。

志望校に合格することがゴールではなく、あくまで、僕の通過点にすぎないので、これからは、努力をして、勇往邁進していきたいと思えます。

春暖の候、年度末を間近に控え、ご多忙のことと拝察いたします。さて、この度の東京への修学旅行におきましては、ご多忙の中、本校2年生のために貴重な時間を割いて戴き、誠にありがとうございます。また訪問に際しましては、大変丁寧な対応をして戴きまして、心よりお礼を申し上げます。生徒も研修終了後は、非常に感激した旨の言葉を述べておりました。



江戸五街道の基点 日本橋にて

おかげさまで今回の企業訪問では、自分の知らない社会や物事に関して多くの感動や発見があり、様々な見聞も広めることが出来ました。また自分たちが漠然と考えていた職業というものに対する単なる憧れとも言える認識が大きく改まり、厳しさや素晴らしさという具体的なもの

を得ることが出来ました。その結果、修学旅行以降の学校生活に於いても、進路研究や学習全般に対する姿勢が一層引き締まって参りました。これを契機として、来年に控えた進路決定や受験に邁進し、生徒各自が自己実現を果たせるよう指導していきたいと考えます。このような大きな成果をもたらす素晴らしい企業研修とすることができましたのも、ひとえに御社のご協力の賜物だと深く感謝いたしております。

今回の訪問に際してご尽力下さいました関東同窓会の皆様方にも、くれぐれもよろしくお伝えくだされば幸いです。それでは、略儀ながら修学旅行での本校生徒の受け入れに対するお礼のご挨拶とさせていただきます。

燃える!!

クラス会・同期会

傘寿を目前に

牛島 健一 昭26年卒

平成22年6月8日、竹田高校関東二十六会を横浜みなとみらいのランドマークタワー168階のロイヤルパークホテル内の日本料理「四季亭」で開催した。梅雨の季節で、天候を気に、又、皆さん八十才を目前にして、脚腰の衰えを越して三十五名の同

級生が集いました。

全員の集合写真撮影に始まり開会。二十六会・会長阿南惟正氏の挨拶と二十六会全国大会の予報告。二十六会事務局長・永嶺勝司氏、奈良からの小代章氏、愛知からの河野テル氏ら、遠来の友を交え、長吉泉氏の首頭で乾杯。

自由談話懇親会と移行。68階の席から、横浜湾やベイブリッジの眺望を満喫しながら、故郷や六十年前の学窓の思い出話に花が咲きました。永嶺君が竹田土産に三笠野荒城の月は、郷愁を一段と駆られました。

次回幹事を安藤哲氏と松田常子氏に移譲し、三時間余りの楽しい会もお開きとし、次回再会を約し、各自、薄暮れ近づく港町横浜を後にしました。会員の恙無い事を願います。

別府で竹高化学部OB会

松良 修二 昭34年卒

9月11日、別府のホテル・アールで竹高化学部OB会が開催されました。



今回が4回目で、幹事は33年卒の片山研さん、加藤興史さん、34年卒の竹内利久さん。益々お元気な田北先生(当時の部長)を囲んで、32年から35年卒の化学部員が集まりました。

ホテル白慢の源泉かけ流しで汗を流した後、浴衣がけで、最上階にある英国王朝風の食卓に着席というOB会でしたが、いつもながらの楽しい夕べとなりました。

出席者は、上記の三氏以外に、32卒の大岩 辻、松良、山口、和田、吉野、34年卒の上田、桜井、首藤、松本、松良、35年卒の大下、加治の各氏でした。写真提供は35年卒の大下隆さんです。

苦難に堂々の挑戦

傘寿を祝う 最後の同窓会

由見 靖 昭25年卒

昭和25年卒業 竹田高校第二回生の六十周年記念同窓会が十月六日竹田市ホテル岩城屋で開催された。

歩みを語る充実の笑顔に満ちて斐然たる杖朝の歳を迎える「莫逆の友」27名、戦中戦後の動乱と窮乏に耐えて日本の平和を築いた自負がある。

個性豊かな愛情あふれる恩師の方々、大志半ばにして幽明相隔てる旅立ちの無念の友らに謝

恩と追悼の誠を込めて黙祷を捧げた後、阿南文幸会長長歓迎の辞、吉弘央事務局長の経過報告に続いて、田部利武君の「傘寿を称える祝吟」が朗々と吟じられ満場の喝采を浴びた。

六年間の学園生活を懐かしみ、六十年の来し方を語り合う時を忘れる懇親会。諸々の事情で出席者激減を考慮し今後は会の開催を断念、地域毎の交流を図る事とした。

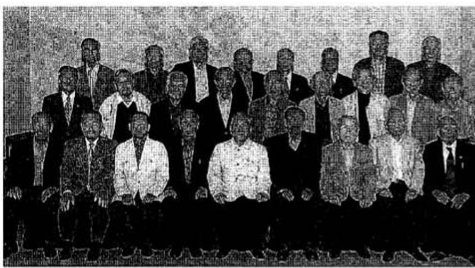
又、吉弘央君には竹高25会発足以来、半世紀以上に亘り本部事務局として献身的ご奉仕を戴だいた。中学校長退職後の多方面に及ぶ社会的活動は、あまた「顕彰、表彰」に浴する大貢献の中、寸暇を惜しんでの尽力は絶大で、会の今日あるいは彼の功績の賜物であり、出席者全員で感謝と尊敬を込めて盛大且つ惜しみない拍手を贈った。

あわせて二代目会長阿南文幸君と協力の誠を惜しまなかった竹田支部会員諸君にも盛大な拍手で功績を讃えた。

「暁早くその上の……」校歌を万感の思いを込めて斉唱。

名曲「荒城の月」には誇り高き郷土の往時に万感の思いを馳せた。

翌日、ほのかに色づきはじめ、寂寥の気漂う久住連山に互いの幸運を折り別れを惜しんだ。



平成22年度竹田会総会

昭和42年卒 田部 修士



里見会長 挨拶

田のシーンを楽しみにしている。将来的に竹田が全国の注目を浴びよう願っています」と挨拶された。

後藤眞二さんが「来年2月には竹田高校修学旅行で学生が上京する。同窓会の先輩と学生との交流を企画しているのによい時期と考えている。と挨拶され、竹田から出席された方々を紹介された。内川元市議会議長、菅前観光協会会長、姫野青年商工会議所会頭、河野商工会議所事務局長、土崎南高校校長。

本軍の37柱とともに丁重な海軍葬が執り行われた。戦後遺骨は日本軍が持ち返ったとの話もあるが、いつか誰もその話をしなくなった。(先生は)33年間モスクワで勤務、その後も度々ロシアを訪れる機会を持ったが、その間に島田謹二先生の本を目にして広瀬武夫に魅かれた。なんと公表に出したいと思っていたので、竹田市でのフォーラムや国際人広瀬武夫の出版で希望がかなった。

ロシアも武道が盛んで、中でも柔道に人気があるそうですが、フェシユンさんご自身も剣道の達人とのことでした。続いて、竹田市とPHPの協力により昭和10年(75年前)の無声活動写真が映写された。塔尾忠美子さんがお母さんの娘時代のシーンを発見され大興奮の一幕となった。出席者の多数の希望により、首藤市長のご了解も得、改めて映写会が催されることとなった。

まず里見会長が「今年の竹田市は広瀬武夫中佐に関わる行事が続き、新しく4mを越す見事なブロンズ像も完成した。嚶鳴フォーラムも盛大に行われ、12月5日からNHKの坂之上の雲が始まる。竹

出席し、7時頃になる予定が、なんとか6時に間に合いました。坂之上の雲の放送もあり、ロシアとの文化交流を目指すのによい時期と考えている。里見会長、中島さん、ほか多くの皆様のご支援を頂いて11月23日には広瀬武夫杯柔道大会1回大会を開催する。明治と言う時代を力強く生き抜いた広瀬武夫の思いを改めて学び、青少年の教育にも繋げていきたい。諸々の事業資金については、合併6年目になるが、基金30億円を積み上げた。これも故郷納税など皆様のご協力が生きています。竹田市長として夢・希望・高い志を持ち市民と一緒に竹田市を引っ張っていきたい」等々。

来賓挨拶に続き、ロシア文化センター代表の川村秀先生が「ロシアにおける広瀬武夫」と題して特別講演をされた。日露戦争は、西洋においても騎士道が残った最後の戦争であった。旅順港に散ったと思われていた広瀬中佐の遺体は無傷に近い状態でロシア海軍に回収され、日

最後に高野さん(お母さん・旧姓甲斐優子さん・長湯出身・S43卒)によるピアノ演奏にあわせて花、荒城の月、美しき竹田の歌を全員で合唱した。会場は大いに盛り上がり、興奮冷めやらぬ盛会の中竹田会は終了した。

特別講演をされる川村先生



特別講演をされる川村先生



特別寄稿

竹田高校を訪れたロシア
女子留学生「カーチャさん」
日露文化センター

川村 秀

昨年2月6日 竹田市で開催された「嘸鳴ブレ・フオーラム・竹田」に参加され、ロシアの現代女性の眼で「広瀬武夫を心から愛したロシア貴族の令嬢アリアズナの心理」について、他では聞けない興味深い分析を語られ、翌2月7日(日)には竹田高校を訪問、生徒の皆さんときれいな日本語で楽しく懇談された清楚なお嬢さん。エカテリーナ・ポポリーキナさん(愛称「カーチャさん」)を覚えておられる方もおられると思いますが、再び大分との縁ができたそうで、改めてご紹介させていただきます。

カーチャさんは、竹田高校訪問から半年後、東京大学国文学研究室での留学を終え、昨夏8月に故郷モスクワへ戻り、ロシア国立高等経済学院大学の東洋文学部と東洋哲学部の日本語教師として活躍さ



れて居ます。この大学は国際経済エキスパートを養成する大学で、ブーチン首相も視察に訪れております。所在地は、都心のミヤスニツカヤ通り20番地。ソ連時代のキーロフ通りで、かつてソ連化学工業省だったところです。私にとってもセキスイのソフトロン製造プラントの対ソ輸出を成約した時の技術ネゴヤ、その他の商談で何回も通った、商社

駐在員時代(42年前)の思い出深い場所です。

およそ六十名の男女学生が、カーチャさんから日本語を学んでいる由。これらの学生の中から留学生が来日し、アリアズナの叶わなかった夢を果たしに竹田を訪問し、親しく広瀬武夫について見聞する日が必ずや来ると信じて居ります。カーチャさんからのメールによれば、学生はパソコンで日本語を使えるそうですから、メールで文通できれば、竹田とロシアを結ぶ「懸け橋」となり、広瀬武夫やアリアズナもきつと喜んでくれるのではないのでしょうか。

さて話を昨年2月に戻します。竹田へ向かう日、羽田空港で待ち合わせ、2月7日に御別れするまで、私が内心おどろき感動したのは、建物や部屋への出入りの際、カーチャさんは年配者が通るのを待つて一番最後に足を運ばれたことです。上品で穏やかな日本語と、黒板に書かれた、綺麗な漢字もそうですが、このようなマナーは(失礼ながら)ソ連・ロシアの学校教育で身につけられたものではないと思います。カーチャさん



のお父さんは中国問題の専門家でした。

また、叔母さんのタチアーナ・サカローワリディューシナさんは1976年から14年をかけて「源氏物語」全54帖のロシア語完訳出版をされた著名な日本文学者です。タチアーナ叔母さんのお父さんは中国史の歴史学者、ご夫君も日本・中国美術の専門家という極めて稀な東洋学者一家の環境で育ったカーチャさんは、物心もつかないころから日本の骨董品や書物に囲まれ、触れておられたとのことですから、マナーや教養が、日本人から見ても模範的なもの不思議ではありません。この六十人の日本語を学ぶ学生

さんの中からロシアの将来を背負う国際人が育ったらどんなにすばらしいことでしょう。

NHKのテレビドラマ「坂の上の雲」で広瀬武夫の恋人アリアズナを演じた著名なロシアの女優さんも美人でしたが、イメージとしては広瀬神社に残っている、コワリスキー一家の別荘で1901年7月6日に撮影された記念写真の右端の娘さんがアリアズナだとすれば、飾り気のない、健康で、やさしい娘さんなので、むしろカーチャさんに近いと思います。

最後になりましたが、カーチャさんは今でも竹田の日々を忘れず、「皆さんにくれぐれもよろしくお伝え下さい」とのメールを送ってこられましたので紙上をお借りしてお伝えすることを許して下さい。





竹田城跡(兵庫県朝来市)

田部 修士(昭42年卒)

地名を検索すると竹田と云う地名がいくつか見
つかります。以前但馬屋の板井氏より説明され何
か機会があればご紹介したいと考えていた場所が
あります。

今回の故郷紀行は地元竹田市ではありません
が、昨年の竹田会で産経新聞の大野編集委員から
写真を頂戴し、ご紹介のありました竹田城のこと
を書いてみました。

かつて但馬の国府があった豊岡から山陰本線を
南に向かい5駅目の和田山で播但線に乗り換え次
の駅が竹田駅です。地図を覗くと駅の西側に虎臥
山があり、その頂に竹田城(別名、虎臥城)が
あります。地域名(豊岡、竹田、但馬)もさるこ
とながらお城の呼び名も何かの縁を感じます。板
井氏によると豊岡市に稲葉川もあるそうですが、
お菓子の但馬屋は豊岡の出身だそうです。尚、
お菓子には中嶋神社があり、お菓子の神様。田道間守
命(たじまもりのみこと)が祭られ全国お菓子屋
さんの信仰を
集めているそ
うです。



写真:産経新聞・2010年11月7日付
【探訪】より(大野編集委員から頂戴した)

兵庫県朝来市(あさこし)にある竹田城跡は国指定史跡。そのスケールは南北400m、東西100m。天守台の標高353.7mの石垣遺構

で、1400年代中盤に但馬の守護大名、山名持豊が築城したとされます。1577年竹田城の戦いでは、羽柴秀吉の弟・秀長が歴代の城主・太田垣氏を破り城主になったが、関ヶ原の合戦後は、廃城となり、今では石垣だけが往時をしのばせる。虎臥城は、「天空の城」とも呼ばれ、白く霞む雲海の隙間から覗く山頂の石垣が写真家のスポットにもなっているようです。よく晴れて日中と朝晩の寒暖差が大きい晩秋から初冬に、円山川から立ち上り城を神秘的に包む雲海が見られる。その姿はペルーの有名な遺跡になぞらえて「日本のマチュピチュ」とも呼ばれるそうで、近年の歴史ブームで城跡を訪れる人が最近になって急増。以前は年間約2万人だったのに対し、昨年は3万5千人を記録、今年さらには増えて5万人を超える勢いだそうです。

大豆

地域に夢を広げる竹田の産物

竹田市立図書館 本田 耕一

岡藩8代藩主中川久貞公は、藩財政をたて直すため中沢三郎左衛門を起用しました。三郎左衛門が農民の負担を軽減して収入を増やすため、大豆の奨励を図ったことは良く知られています。中沢三郎左衛門は、里見奨学会・里見雄雄理事長のご先祖に当たり、高品質の岡大豆という銘柄を全国に広め藩財政に貢献したことが、竹田市史(中巻)で紹介されています。

ところで、その後、明治以降の取り組みについて触れてみます。明治初期、大豆主産地は大野・直入両郡で、他

の地域では自家用に栽培して自家消費残の大豆を僅かに販売する程度でした。両郡は旧岡藩時代の奨励作目として産地化されていたのです。化政時代に「大豆精撰法」を定め品質の向上が図られたことから、「岡大豆」の名声が全国に広がり、大坂市場で上等の評価を得て高値で販売されていま

す。
嘉永・安政の頃、全国の大豆が凶歉に遭遇した時も、品質が保持され価格も変動することもなく、常に米価の上に位置するほどの高値でした。しかし、明治以降、租税が物価から金納に移行してからは、品質が粗悪となって価格が低落し、岡大豆の評判も凋落してしまつたのです。

その後復活させるため、明治15年に東京で開かれた穀類種草業種共進会に出品しましたが、残念ながら劣等の地位に甘んじることになりました。そこで、有志が奮激し回復を図るため、明治17年に大豆等の共進会を開設して大豆の改良を試みましたが、容易に評価を挽回することはできませんでした。明治19年には表装を旧岡藩貢納大豆に倣つて調製し、150余石を大阪市場に出荷したところ、好評で一石当たり50銭の高値がつかま

した。
しかし、こうした地域の努力にも拘わらず、岡大豆の産地化は継続されず、岡大豆という言葉も風化してしまつたのです。近年、食の見直しなどの観点から岡大豆の栽培を企図する人々が、岡大豆の原種を農家から見つけ、新しい竹田の食材として期待をよせているところです。

遺伝子組み換えや残留農薬の問題など、穀物の安全や味覚に対する関心が高まっており、遊休農地活用による岡大豆の再現によって、特産料理の開発が誘発されれば、地域の活力を生む要因になると期待されます。明治時代に復活を試みた先達の努力と実績を受け継ぎ、再び開花させることができぬものではないでしょうか。

訃報

物故者御芳名

慎んでお知らせ申し上げ、心から冥福をお祈り致します。

福島 睦子様 (旧姓 渡辺)
 (昭和37年卒) 没
 平成二十二年
 立様 (昭和6年卒) 没
 平成二十二年十一月 没

※事務局へ連絡を頂いた方々を掲載しております。

図書紹介

(昭和42年卒) 田部 修士

①、見越しの塔 (新宿書房)

著者の久木綾子さんは広報たけたでもご紹介されましたが竹田番匠(大工の棟梁)の物語です。竹田市報にも紹介されましたが、佐藤充子さんから興奮した声で会社に電話があり「随所に竹田の地名が出てくる」と紹介がありました。

②、土木遺産 (ダイヤモンド編)

建設コンサルタント協会が編集した本で、白水ダムが「日本一美しいダム」として12ページに渡り図面つきで紹介されています。

③、評伝・広瀬武夫 (産経新聞)

著者：秋本寿久 (大阪編集長)
 今秋の竹田会であり知られていない広瀬武夫の紹介を依頼しています。

④、「坂上の雲」人物読本 (文芸春秋)

川村秀先生が、昨年の竹田会で講演された内容が詳しく紹介されています。

竹田高校 平成23年度入試結果

(1) 国公立大学合格者数の推移 (過去4年間)

年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
合格者数	64 (6)	45 (8)	62 (3)	67 (3)

ただし、() は過年度生。

(2) 難関大学の合格者数

大学名	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
九州大学	4	0	2	1
大阪大学	1	2 (1)	0	3
国公立医・薬	1 (1)	1	1	0
早稲田・慶應	1	2 (1)	1	1

ただし、() は過年度生。

辻野先生からの情報

大分県観光・地域振興局に立ち寄りまして、「じゃらん宿泊旅行調査2010」(「とりまかし」2010年9月号所載)というデータ頂きました。

そのデータによりますと、総合の「来訪者の満足度が高い都道府県」では、沖縄・京都に続いて大分は北海道と共に堂々の三位でした。九州では熊本と鹿児島が同率五位でした。

個別項目の「魅力的な宿泊施設が多かった都道府県」では、沖縄に次いで二位でした。九州では熊本が三位、鹿児島が五位

した。「大人が楽しめるスポットや施設が多かった都道府県」では、大分は九位でした。九州では福岡が大分の上の八位でした。「子供が楽しめるスポットや施設が多かった都道府県」では、大分は七位でした。以上の如く素晴らしいデータですが、惜しむらくは大分人は自慢下手で、こういう情報を外に向かって発信しておりません。

辻野 功

大分人祭りI-N東京

3月3日に突然二人の女性の来訪を受けました。一人は角田陽子さん、マンダリンオリエンタルホテルでコンソルジェをされています。仕事の縁で竹田会の里見会長とは随分前からの知り合いとか。もう一人は伊藤彩子さんで、お二人で大分人祭りI-N東京の集いを企画しているそうです。県人会からの報告で集まりについてはご存知のかたもおられると思いますが、特に若い世代の大分出身者の融合の輪を広げて東京から大分を応援して行きたいと頑張っておられます。これまでにこの集いを通して結婚されたカップルも誕生したそうです。(S42年卒) 田部 修士

伊藤彩子さん

ブログ: <http://blogs.yahoo.co.jp/otajinnatur>



角田陽子さん 伊藤彩子さん

あとがき

竹田会のご案内

11月11日(金)に開催予定
 アルカディア市ヶ谷にて
 PM6時~8時

※「投稿」をお待ちしています。

この会報は会員皆様方の情報交換の場として編集しています。関東同窓会会員の方々の投稿を期待していますがその数が少なく苦労しています。お互いの交流の場としてぜひお活用下さい。

委員一同

・投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌・文芸
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

・連絡先

〒103-0027
 東京都中央区日本橋1-15-1
 日本バーカーライジング
 田部 修士 宛
 (広報委員長)
 TEL 03-3678-4350
 FAX 03-3678-4314

mail to: stanabe@parker.co.jp

